

市民参加プロセス計画書：「第6次岡崎市男女共同参画基本計画（ウィズプランおかざき）」の策定

Q・そもそも、なぜこの計画又は事業が必要なのか？計画策定又は事業推進により解決したい課題は何か？

・本市では平成10年に「おかざき男女協働プラン」を策定し、平成17年に「岡崎市男女共同参画推進条例」の制定、令和4年に「岡崎市男女共同参画の推進及び多様な性を尊重する社会を実現するための条例」に改正を経て、「岡崎市男女共同参画基本計画」に基づき長期にわたり男女共同参画社会の実現に向けた意識啓発や環境整備など、男女を取り巻く問題の解決や様々な施策に積極的に取り組んできました。  
 ・第7次岡崎市総合計画の総合政策指針の分野別指針「(4)多様な主体が協働・活躍できる社会づくり」「(6)女性や子どもがいきいきと輝ける社会づくり」に位置づけられており、「多様な主体が協働・活躍できる地域共生社会の実現による安全安心なまち」、「子育て世代の就労をはじめとする社会での活躍を支援することで、安心して楽しみながら子育てできるまち、子どもがのびのびと育つまち」を目指としています。  
 ・「第5次岡崎市男女共同参画基本計画」が令和7年度で満了することに伴い、これまでの取組や社会情勢の変化を踏まえ、本市の特徴に基づいた施策・事業を展開していくための総合的な指針として新たな計画の策定が必要となります。

	実施時期（年月）	具体的な市民参加手法・実施場所・実施回数など	対象者（対象とした理由）	・提供する情報 ・聴取したい情報	目的（何についてどこまで合意形成したいか）
検討段階	令和6年8月	アンケート（無作為抽出した18歳以上の男女各1500人）	市民（市民の意識・実態を把握するため）	・市民の男女共同参画や多様な性に関する考えや状況、行政に期待すること	新計画の策定資料として、市民の男女共同参画や多様な性に関する意識・実態について、調査結果を得る。
	令和6年8月	アンケート（無作為抽出した事業者500社）	市内事業者（市内事業者の意識・実態を把握するため）	・男女共同参画や多様な性に関する事業所の現状や行政に期待すること	新計画の策定資料として、事業者の男女共同参画や多様な性に関する意識・実態について、調査結果を得る。
構想段階	令和7年2月	第2回岡崎市男女共同参画推進及び多様な性の尊重に関する審議会	岡崎市男女共同参画推進及び多様な性の尊重に関する審議会委員（学識や民間事業者、学校関係者など多様な意見を新計画に反映させるため）	・アンケート集計結果報告 ・新計画の素案 ・新計画の素案に対する意見、提案、内容の検討 ・計画策定に係るスケジュールの確認	アンケート結果等から新計画策定に向けた大まかな方向性に対する合意を得る。
	令和7年6月	岡崎市男女共同参画推進及び多様な性の尊重に関する審議会委員への情報共有	岡崎市男女共同参画推進及び多様な性の尊重に関する審議会委員（学識や民間事業者、学校関係者など多様な意見を新計画に反映させるため）	・新計画の素案 ・新計画の素案に対する意見	策定に係る進捗状況の共有と意見を集約する。
計画段階	令和7年8月	第1回岡崎市男女共同参画推進及び多様な性の尊重に関する審議会	岡崎市男女共同参画推進及び多様な性の尊重に関する審議会委員（学識や民間事業者、学校関係者など多様な意見を新計画に反映させるため）	・新計画のパブリックコメント案 ・新計画のパブリックコメント案に対する意見	新計画のパブリックコメント案を示し、市の考えと市民（委員）の考えのすり合わせを行う。項目、指標、具体的な計画内容について合意を得る。
	令和7年11月	パブリックコメント	・全市民（パブリックコメントは誰からの意見も受け付けるため）	・新計画（案） ・新計画（案）に対する意見	新計画（案）の内容に対する合意を得る。
	令和8年2月	第2回岡崎市男女共同参画推進及び多様な性の尊重に関する審議会	岡崎市男女共同参画推進及び多様な性の尊重に関する審議会委員（学識や民間事業者、学校関係者など多様な意見を新計画に反映させるため）	・パブリックコメントの報告 ・新計画最終案の提示	新計画最終案を提示する。
実施・運用段階					